

【 第20回女子ジュニア世界選手権 】

2016年 7月 3日 ~ 17日

ロシア ・ モスクワ

試合結果報告 7 月 13 日 (火)

JAPAN	VS	ARG
15	前半	14
13	後半	10
	第一延長	
	第二延長	
28	合計	24

個人得点

No.	名前	前半	後半	合計
1	中野 智佳			0
2	藤田 明日香	3	3	6
3	三橋 未来	3	2	5
4	高杉 桃加			0
5	河原畑 祐子		1	1
6	和田 涼夏			0
7				0
8	斗米 菜月	1		1
9	佐々木 花江	1		1
10	伊地知 美姫	1		1
11	登川 愛		2	2
12	神谷 怜名			0
13	山口 絵梨香			0
14				0
15	澤井 咲良			0
16	大沢アビ直美			0
17	青 麗子	3	2	5
18	渡部 真綾	3	3	6
	合計	15	13	28

試合結果

戦評

アルゼンチンとの一戦は序盤日本の動きが悪く、0 - 2ピハインドスタートとされてしまう。前半2分すかさず三橋を上げるアタックDFに切り替えるも、広くなったスペースを強く押し込まれ7mTが増えてしまう。嫌な流れをGK中野が7mTを、GK大沢がノーマーク速攻をセーブし救う(4分)。それでもオフェンス・DF共に足が全く動かず、9分2 - 6とされたところでタイムアウト。4 - 2DFシステムを導入しリズムをつかもうとしたが、アルゼンチンオフェンスをファウルできず継続されポスト、カットインと思うように打開されてしまう。13分過ぎやっと三橋の速攻が出るも、DFがポスト中心にやられて19分7 - 13と大量リードされてしまう。20分過ぎにやっとDFがアルゼンチンの強引なプレーに慣れ出し、渡部のシャープなロングから始まり、速攻で三橋、藤田、佐々木と連取に成功、24分13 - 13と一気に追いつく。その後も我慢の展開となり、斗米のミドル、伊地知の速攻で15 - 14何とか1点リードで前半を終えた。

後半序盤GK大沢がナイスセーブ連発でアルゼンチンにペースを渡さず高杉のカットから速攻で35分17 - 15。セットオフェンスではクロス攻撃が機能し、渡部のロングで18 - 15。その後もGK大沢を中心にDFで踏ん張り、10分間1失点に抑え40分20 - 15とリードを広げた。ここで勝負をつけるチャンスであったが、速攻での自分たちのミスで勝負所を逃し続け、アルゼンチンに粘られてしまう(45分: 17 - 20)。46分過ぎからやっとまたリズムをつかみ、三橋や藤田のサイドで49分23 - 17とセーフティーリード確保に成功する。時間をコントロールしながら河原畑、青が加点し、最後は登川の速攻でだめ押し、28 - 24で最終戦を勝利で終えた。

報告記入者 :

岡本 大